

平成 30 年度

第 2 回

上越市地域公共交通活性化協議会
議案書

日 時	平成 30 年 10 月 1 日 (月) 午後 1 時 30 分から
会 場	上越市役所 4 階 401 会議室

次期上越市総合公共交通計画の策定について

1 要旨

次期上越市総合公共交通計画の策定に当たり、平成30年3月に実施した「公共交通に関するアンケート」の単純集計を報告するとともに、今後、詳細な分析の実施において留意すべき事項等について意見をうかがうもの。

2 アンケート調査結果の概要

(1) 属性

- ・20代～60代は運転免許の保有率が90%以上であった。
- ・70代以上の高齢者は運転免許保有率が約64%に減少し、通学で利用する学生とともに、公共交通の利用者層といえる。

(2) 公共交通に対する意識

- ・公共交通はその重要性が広く認知され、一定の必要性が認められる。
- ・しかし、高齢者人口が増加する一方で、バスの利用者は減少傾向にある。

(3) 市民の移動実態

① 主な移動状況

- ・市民の移動は、各区から合併前上越市への移動、人口の比較的多い地域の域内移動が多い。

② 外出手段

- ・市民の移動の大半は自家用車であり、公共交通の利用は約5%であった。
- ・免許のない人の移動手段は送迎が最多であり、通学や通院目的で公共交通を利用する割合が比較的高かった。
- ・70代以上の高齢者においては、自家用車による移動が80%を超えた。
- ・10代は、公共交通による移動が多く、通学に限ると60%を超えている。

(4) 公共交通サービスの満足度、重要度

① 鉄道

- ・全体では、ダイヤ設定、運行本数、乗換負担の軽減等が「優先課題」（重要度：高、満足度：低）に位置付けられた。
- ・70代以上の高齢者においては、全体的に満足度が上がる一方、乗換負担の軽減については、重要度は高いが満足度が低く、「優先課題」に位置付けられた。この傾向は、60代や免許のない人も同様の結果であった。
- ・10代においては、本数、ダイヤについて他の年代よりも優先課題としての位置付けが高い。

② バス

- ・全体、70代以上の高齢者とも、バス停までの距離について重要度、満足度とも高かった一方、便数、ダイヤ設定、乗換負担の軽減、行きたいところへ行ける（ルート設定）、運賃等の満足度が低かった。
- ・通学利用が多い10代は、便数、ダイヤ、運賃、行きたいところへ行ける（ルート設定）について、他の年代よりも優先課題としての位置付けが高い。

(5) バス路線の効率化策に対する認識

- ・「互助による輸送」「デマンド化」は許容度が比較的高かった。
- ・「路線廃止」「減便」「運賃値上げ」「運行日の減」は許容度が比較的低かった。

(6) お得な乗車券の認知度

- ・公共交通のお得な乗車券については、全般的に認知度が低いことが分かった。
- ・特に「おでかけフリー定期券」などは、高齢者向けのサービスだが認知度は高くない。

(7) 本調査結果の活用

本調査結果は、「公共交通に関するアンケート」の基本的な集計を行ったものであり、今後、各地域別の集計など、より詳細な分析を行うとともに、別途実施している地域住民等への聞き取り調査や乗降調査の結果などとあわせ、次期総合公共交通計画に反映させる。

【資料】

- ・「公共交通に関するアンケート」の調査結果について・・・資料1(資料P.1)

「公共交通に関するアンケート」調査結果の概要

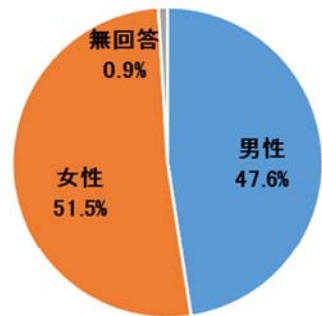
(調査の概要)

(1) 目的	平成32年度からの次期総合公共交通計画の策定に当たり、市民の公共交通に対する関心度、移動の実態（移動目的、方面、頻度等）、公共交通に対して求めるポイントなどを把握し、検討の参考とするため。
(2) 調査地域	上越市全域
(3) 実施期間	平成30年3月15日（木）～3月30日（金）
(4) 対象者	16歳以上の市民のうち、地区別に無作為抽出
(5) 実施方法	アンケート調査票を郵送で送付し、回答者は返信用封筒で返送
(6) 回収状況	配布数 6,228票、回収数 2,745票（回収率44.1%）

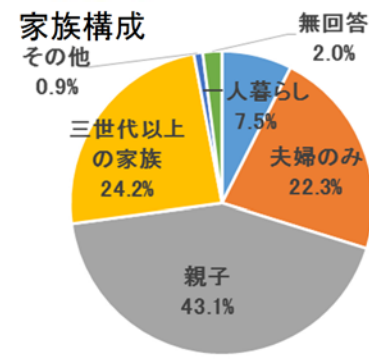
1 属性

○20代～60代は運転免許の保有率が90%以上であった。
 ○70代以上の高齢者は運転免許保有率が約64%に減少し、通学で利用する学生とともに、公共交通の利用者層といえる。

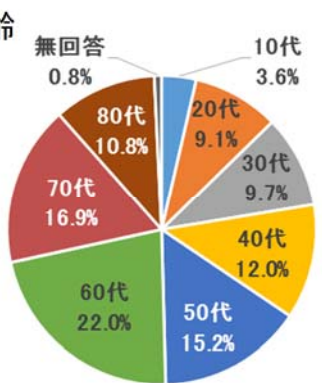
ア 性別



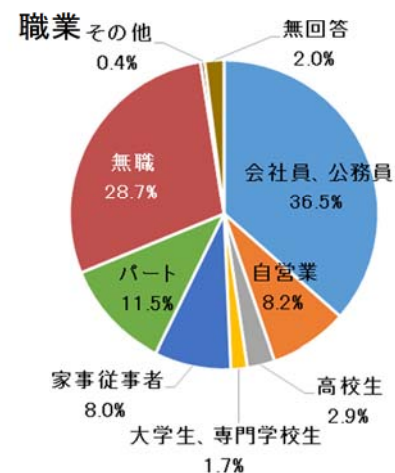
イ 家族構成



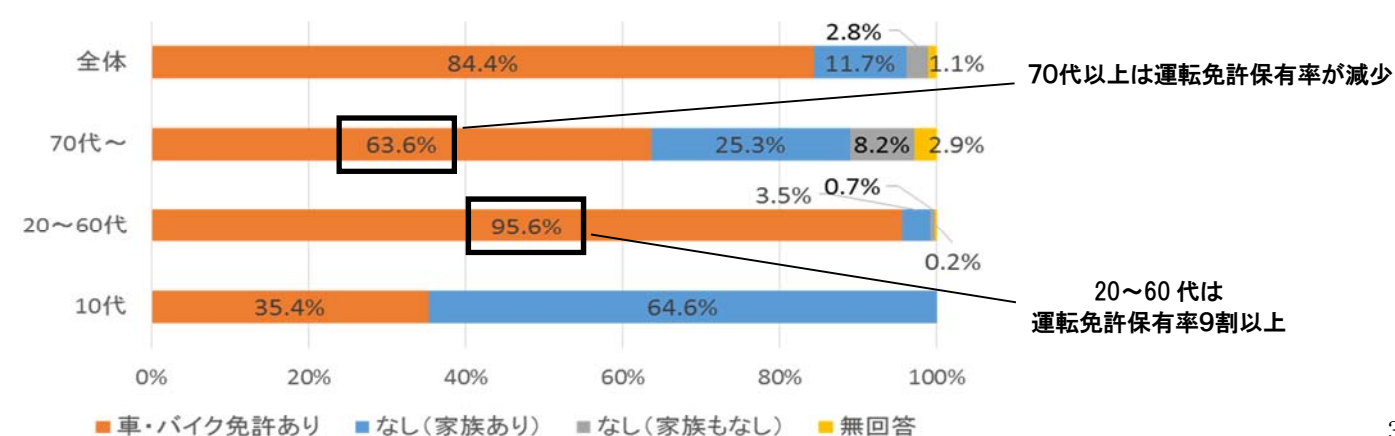
ウ 年齢



エ 職業

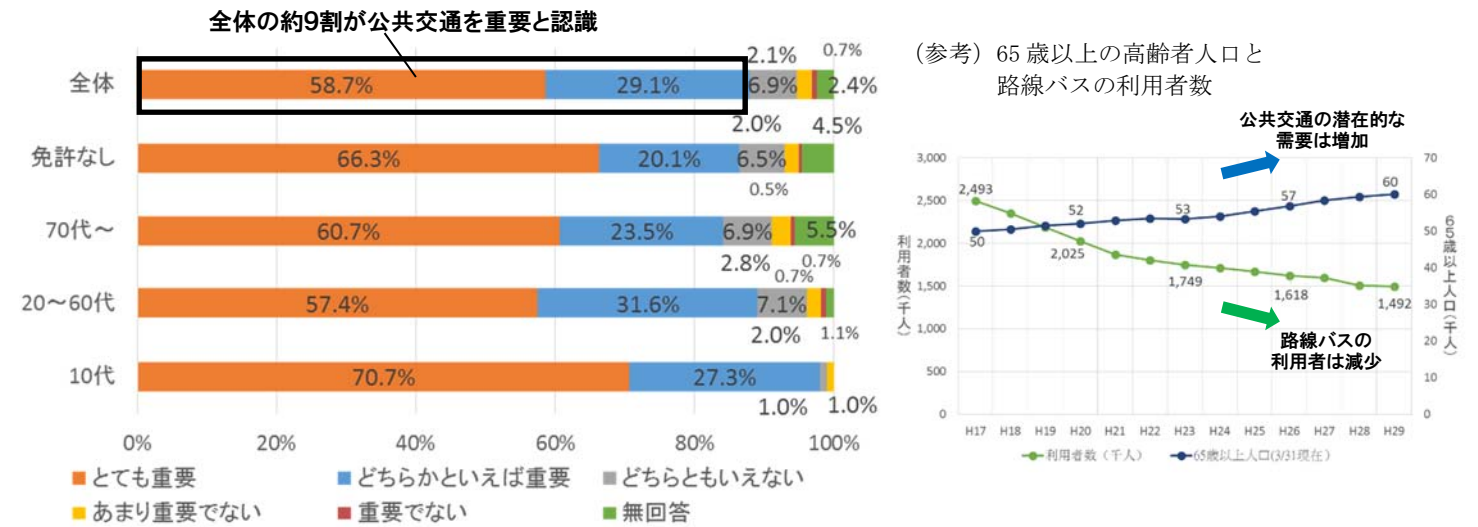


オ 運転免許の有無



2 公共交通に対する意識

○公共交通はその重要性が広く認識され、一定の必要性が認められる。
 ○しかし、高齢者人口が増加する一方で、バスの利用者は減少傾向にある。
 ⇒地域への聞き取り調査等により、公共交通の必要性や、どのように改善すれば公共交通を使うようになるかなどについて、より具体的に把握する必要がある。

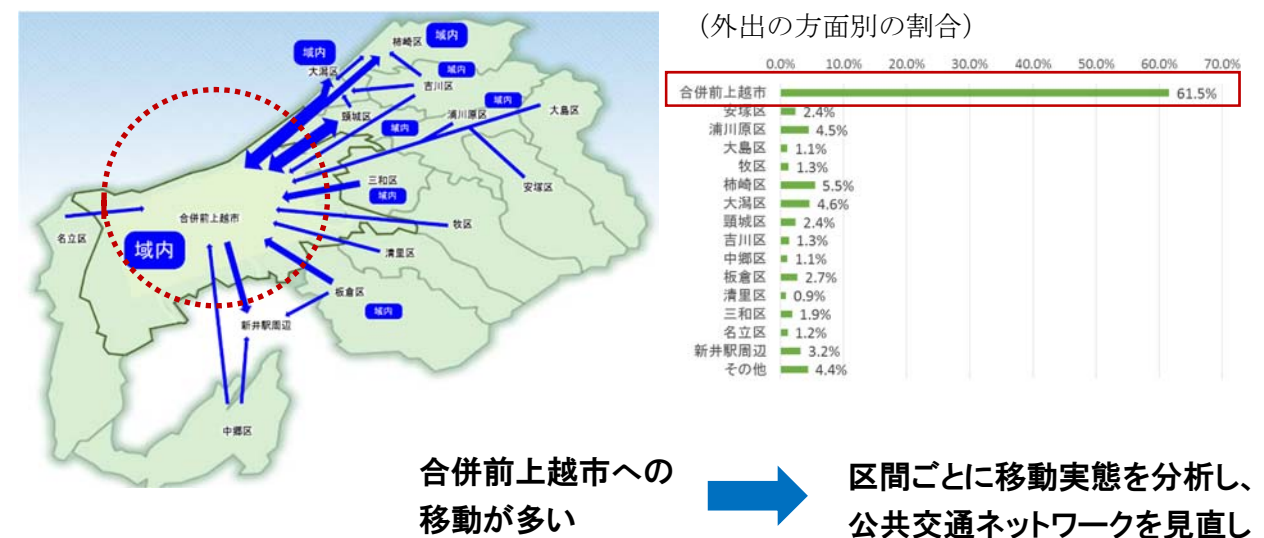


「公共交通の必要性」、「乗ってもらうための改善点」を地域ごとに、より具体的に把握

3 市民の移動実態

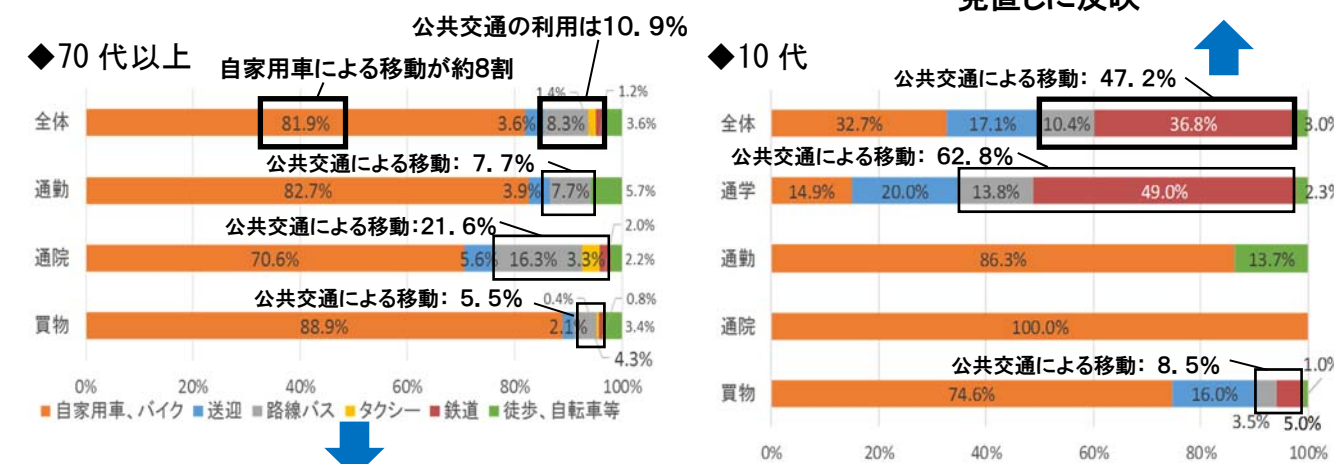
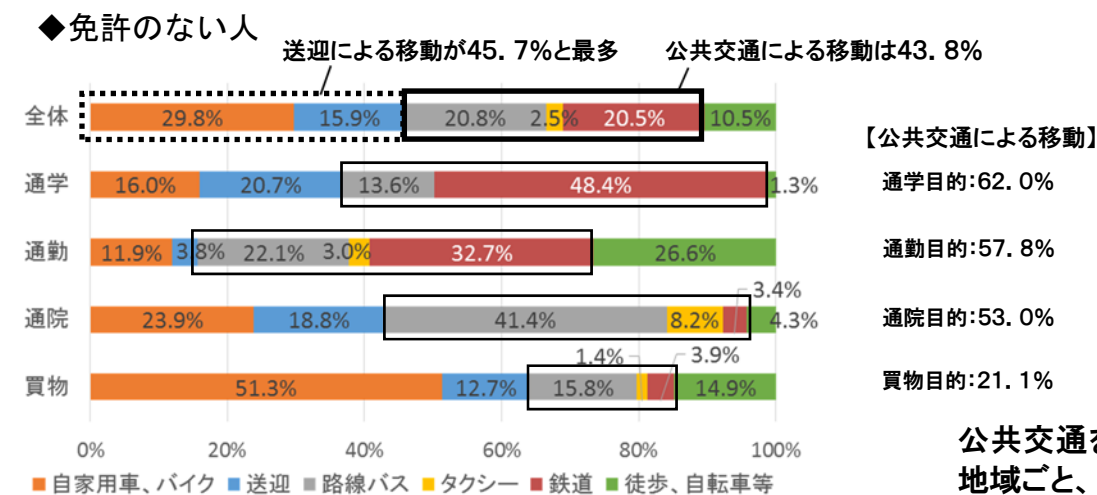
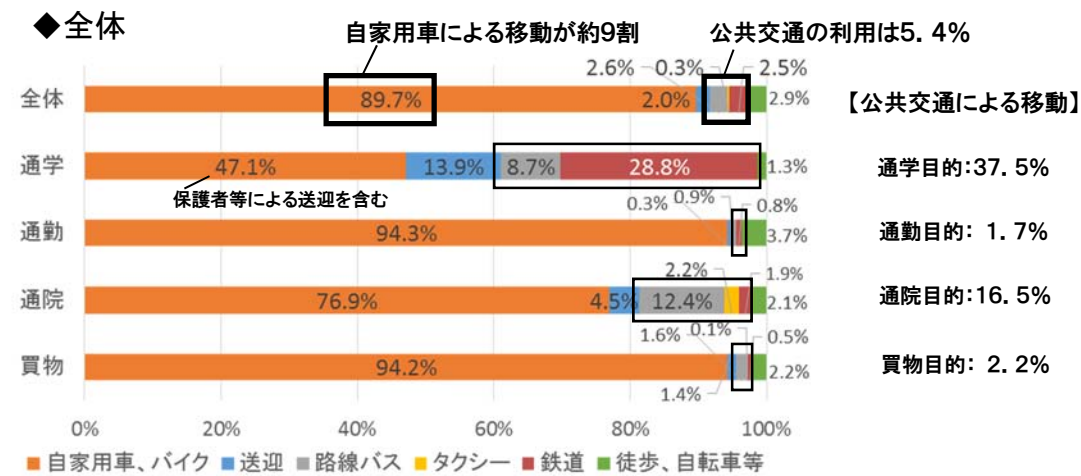
(1) 主な移動状況

○市民の移動は、各区から合併前上越市への移動、人口の比較的多い地域の域内移動が多い。
 ⇒移動実態を区間ごとに分析し、市民の移動目的や移動頻度等を踏まえた公共交通ネットワークを検討する。



(2) 外出手段

○市民の移動の大半は自家用車であり、公共交通の利用は約5%であった。
 ○免許のない人の移動手段は送迎が最多であり、通学や通院目的で公共交通を利用する割合が比較的高かった。
 ○70代以上の高齢者においては、自家用車による移動が80%を超えた。
 ○10代は、公共交通による移動が多く、通学に限ると60%を超えている。
 ⇒地域への聞き取り調査等により、「公共交通は必要か」「どうしたら乗れるようになるか」「目的ごとに具体的にどのようなニーズがあるか」を把握し、見直しに反映する。

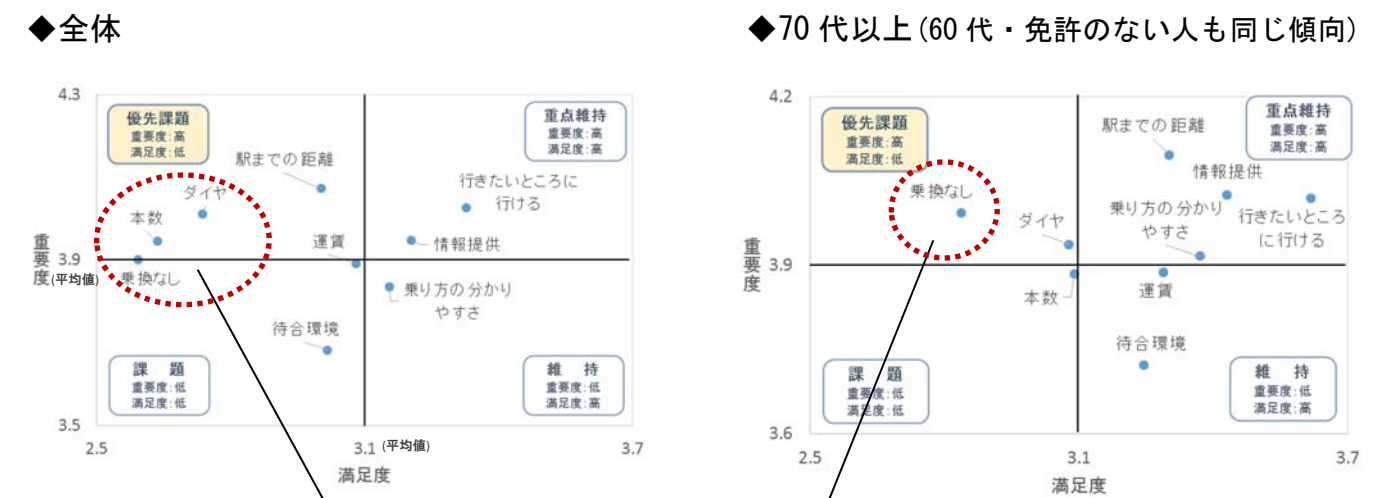


「公共交通の必要性」、「乗ってもらうための改善点」をより具体的に把握

4 公共交通サービスの満足度、重要度

(1) 鉄道

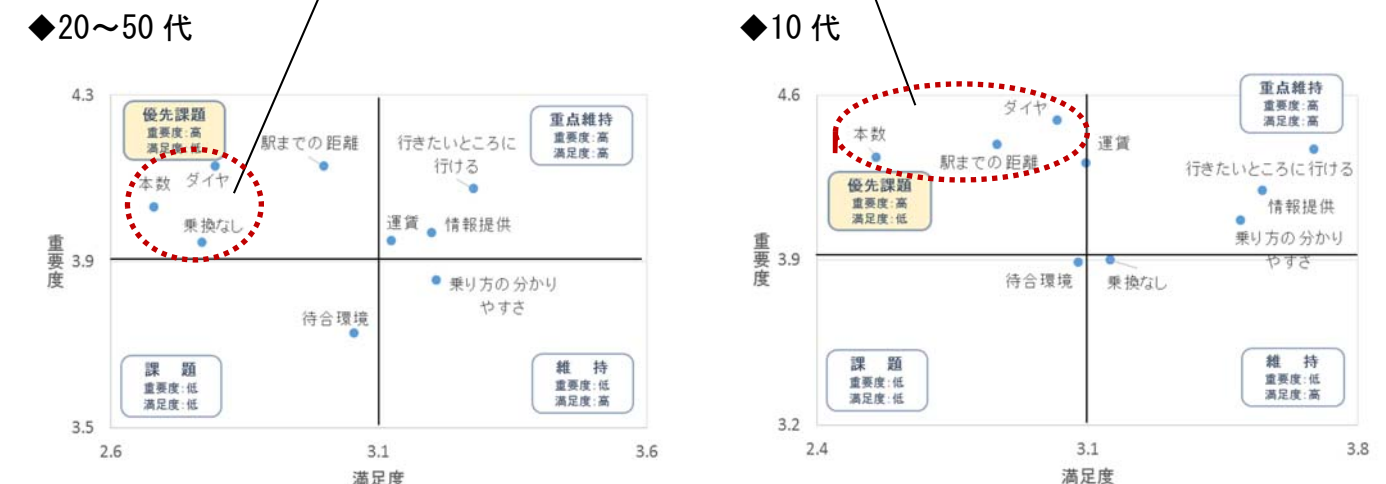
○全体では、ダイヤ設定、運行本数、乗換負担の軽減等が「優先課題」(重要度:高、満足度:低)に位置付けられた。
 ○70代以上の高齢者においては、全体的に満足度が上がる一方、乗換負担の軽減については、重要度は高いが満足度が低く、「優先課題」に位置付けられた。この傾向は、60代や免許のない人も同様の結果であった。
 ○10代においては、本数、ダイヤについて他の年代よりも優先課題としての位置付けが高い。
 ⇒調査結果を参考とするほか、地域ごとに具体的なニーズを把握し、鉄道会社へ要請する。



「優先課題」(重要度:高、満足度:低)

サービス見直しのポイントとして参考とし、
 地域ごとに、より具体的なニーズを把握し、鉄道会社へ要請

「優先課題」(重要度:高、満足度:低)



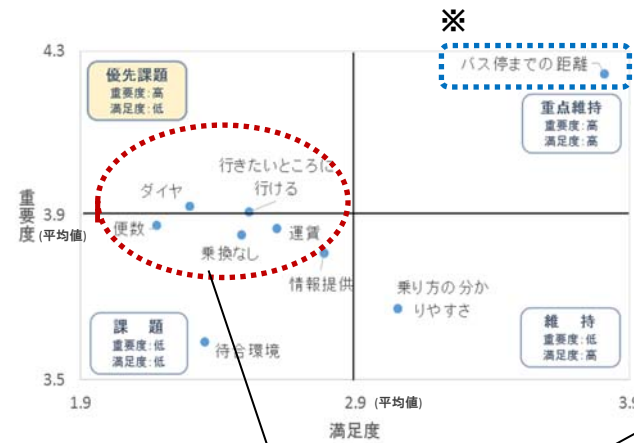
(2) バス

○全体、70代以上の高齢者とも、バス停までの距離について重要度、満足度とも高かった一方、便数、ダイヤ設定、乗換負担の軽減、行きたいところへ行ける（ルート設定）、運賃等の満足度が低かった。

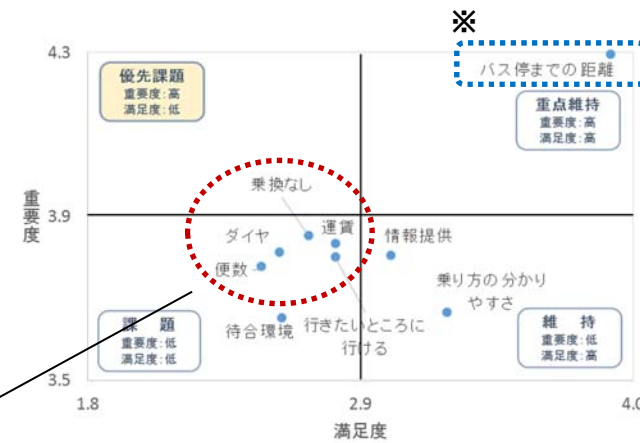
○通学利用が多い10代は、便数、ダイヤ、運賃、行きたいところへ行ける（ルート設定）について、他の年代よりも優先課題としての位置付けが高い。

⇒調査結果を参考とするほか、地域ごとに具体的なニーズを把握し、見直しに反映する。

◆全体



◆70代以上 (60代も同じ傾向)



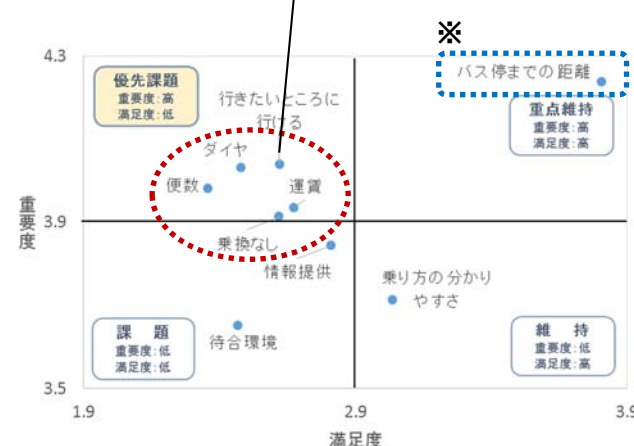
満足度が低い項目

路線見直しのポイントの参考とし、

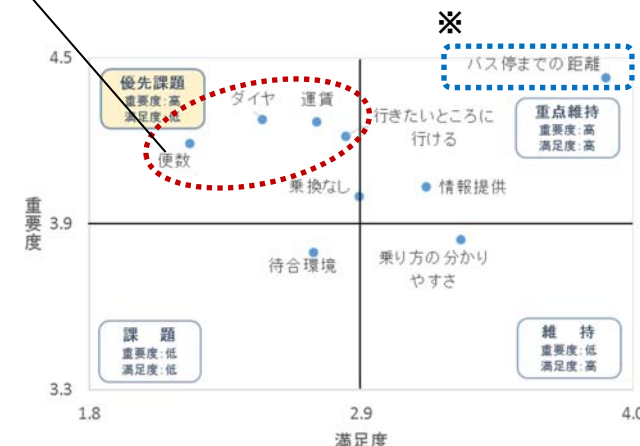
地域ごとに、より具体的なニーズを把握の上、見直しに反映

「優先課題」(重要度:高、満足度:低)

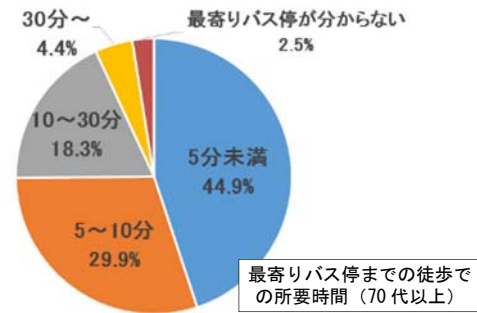
◆20~50代



◆10代



※バス停は比較的きめ細かに設置され、満足度が高い



最寄りバス停までの徒歩での所要時間 (70代以上)

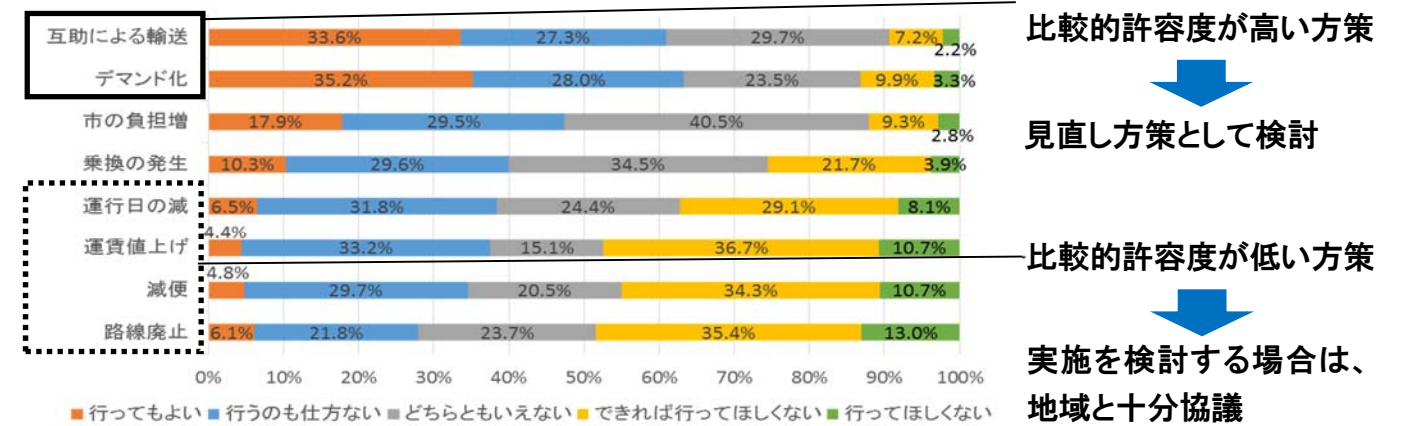
5 バス路線の効率化策に対する認識

○「互助による輸送」「デマンド化」は許容度が比較的高かった。

○「路線廃止」「減便」「運賃値上げ」「運行日の減」は許容度が比較的低かった。

⇒効率化のための方策として、「互助による輸送」や「デマンド化」等の許容度の高い方策の検討を進めるとともに、「減便」や「運行日の減」等の許容度の低い方策を検討する場合は、地域との十分な協議が必要である。

⇒地域ごとに傾向を分析し、新たな運行形態の検討、運行の見直し等に反映させる。



比較的許容度が高い方策

見直し方策として検討

比較的許容度が低い方策

実施を検討する場合は、地域と十分協議

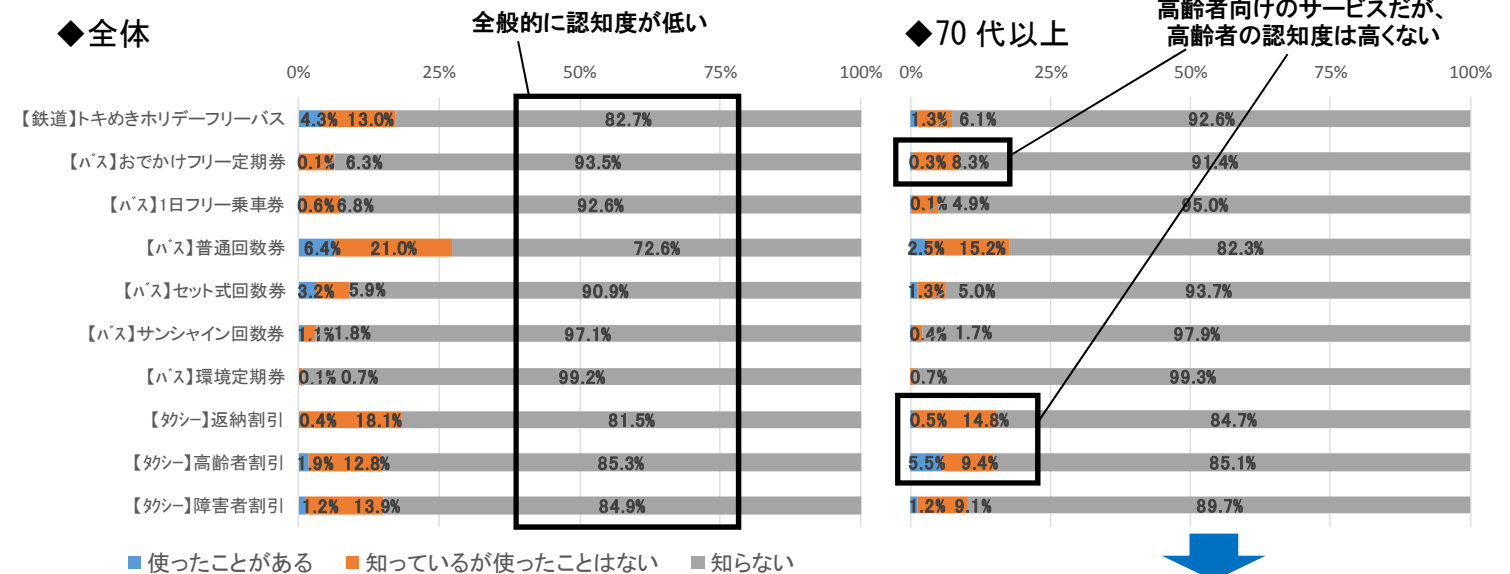
6 お得な乗車券の認知度

○公共交通のお得な乗車券については、全般的に認知度が低いことが分かった。

○特に「おでかけフリー定期券」などは、高齢者向けのサービスだが認知度は高くない。

⇒より利用者のニーズに合った乗車券や、効果的な周知方法など、「乗ってもらえる公共交通」のために効果的な利用促進策について、事業者とともに検討する。

◆全体



全般的に認知度が低い

◆70代以上

高齢者向けのサービスだが、高齢者の認知度は高くない

効果的な利用促進策を事業者とともに検討

7 本調査結果の活用

本調査結果は、「公共交通に関するアンケート」の基本的な集計を行ったものであり、今後、各地域別の集計など、より詳細な分析を行うとともに、別途実施している地域住民等への聞き取り調査や乗降調査の結果などとあわせ、次期総合公共交通計画に反映させる。

平成30年度公共交通利用促進事業の進捗について

1 要 旨

平成30年度事業計画に基づく利用促進事業の進捗状況について報告するもの。

2 進捗状況





実施時期	事業名	進捗状況	備考
7月27日～ 8月31日	夏休み小・中・高校生「バス乗車体験」キャンペーン	完了	市共催
9月15日	バスの日フェスタ2018～働く車大集合！～	完了	協議会 後援
9月15日～	小学生を対象とした公共交通啓発資料の配布	実施中	
9月末	高齢者を対象とした公共交通啓発資料の配布	完了	
12月	降雪期前の通学・通勤者へ配布する公共交通啓発資料の配布		
2月	高校等新入生を対象とした公共交通啓発資料の配布		
3月	上越市内公共交通利用ガイドの配布	作製中	
随時	各区で取り組む利用促進事業	実施中	

3 実施結果

○ 夏休み小・中・高校生「バス乗車体験」キャンペーン

事業概要	小・中・高校生にバスに慣れ親しむ機会を提供することで、夏休み期間中のバス利用促進及び将来のバス利用促進につなげる。				
実施期間	平成 30 年 7 月 27 日（金）～平成 30 年 8 月 31 日（金）				
対象路線	<ul style="list-style-type: none"> ・ 頸城自動車及びそのグループ会社が運行する路線バス ・ 安塚区、大島区、牧区、頸城区、名立区を運行する市営バス ・ 中郷区を運行する乗合タクシー（今年度から対象路線に追加） 				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生以下：1 乗車 50 円（市営バスは、未就学児無料） ・ 中・高校生：1 乗車 100 円 				
利用実績	利用者数（人）		H29	H30	昨年比
	頸城自動車グループ 路線バス	小学生	629	675	107%
		中・高校生	4,346	5,153	119%
		合計①	4,975	5,828	117%
	市営バス	小学生	43	31	72%
		中・高校生	123	100	81%
		合計②	166	131	79%
	乗合タクシー	小学生	-	0	-
		中・高校生	-	3	-
		合計③	-	3	-
①+②+③合計		5,141	5,962	116%	
所 感	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水族博物館うみがたり最寄り停留所「イトーヨーカドー前」での乗降が多く見られたことから、水族博物館うみがたりの開業による影響があったと考えられる。 ・ 市営バスは、全体的に減少傾向であった。特に、名立区を運行する東飛山線を利用した中・高校生が、昨年の 95 人から 70 人に大きく減少しており、東飛山線沿線に住む中・高校生の人数が減少したことが理由の一つとして推測される。 				
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 頸城自動車及びグループ会社では、夏休み「バス乗車体験」キャンペーン期間中の利用が多く、一定の効果があったことから、9 月 16 日（日）から 11 月 25 日（日）までの土・日・祝日に、頸城自動車及びグループ会社が運行する路線バスを 1 乗車小学生以下 50 円、中・高校生 100 円で利用できる、秋の小・中・高校生「バス乗車体験」キャンペーンを実施している。 				

○ バスの日フェスタ 2018～働く車大集合！～

事業概要	市民がバスに慣れ親しむ機会を提供し、将来のバス利用につなげることを目的に開催。
日時	平成 30 年 9 月 15 日（土）午前 10 時～午後 3 時
会場	イトーヨーカドー直江津店、エルマール専門店街
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・園児による合唱披露…中央保育園の園児（19 人）による合唱 ・バスのぬり絵…バスの乗り方やマナーを学ぶぬり絵 ・バスの絵展示…市内 8 保育園の園児（132 人）のバスの絵を展示 ・交通安全教室、バスの乗り方教室 ・スタンプラリー…「働く車の展示」「お絵かきバス」「バスのぬり絵」に参加し、スタンプを集めてお菓子のつかみ取りに挑戦 ・働く車の展示…路線バス、消防車、パトカー、白バイ、活魚輸送車の展示（活魚輸送車以外は運転席での記念撮影） ・お絵かきバス…路線バス車両へのぬり絵（お絵かきバス車両は、9 月 20 日（木）から運行） ・楽しく学べる防災プログラム…防災について、ジャッキアップを使った救助方法やカードゲーム等を通じて防災知識を楽しく学んだ ・ワンコインバス乗車体験キャンペーン…市内路線バス及び市営バスが 1 乗車 100 円（こども 50 円） 利用者数：1,250 人（H29：1,210 人）
当日の様子	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center; margin: 5px;"> <p>交通安全教室</p>  </div> <div style="text-align: center; margin: 5px;"> <p>バスの乗り方教室</p>  </div> <div style="text-align: center; margin: 5px;"> <p>お絵かきバス</p>  </div> <div style="text-align: center; margin: 5px;"> <p>防災プログラム</p>  </div> </div>
来場実績	来場者数：約 1,800 人（H29 は約 2,000 人）
所感	小雨が降っていたため、昨年より来場者数が減少したが、多くの家族連れから参加いただき、バスに対する理解を深めることができた。

○ 小学生を対象とした公共交通啓発資料の配布

事業概要	バスの日フェスタ等小学生が集まるイベントに合わせて、バスの乗り方やマナー、家族でのお出かけにぴったりのお得情報を掲載したチラシを配布する。
作成部数	1,000部
作成費	42,660円
配布先	・9月15日：バスの日フェスタでのバスの乗り方教室参加者 ※市内小学校やバスの日フェスタでバスの絵の展示に協力いただいた保育園5歳児クラスへの配布、バスの乗り方教室や働く車の展示など各種イベントで配布予定

【資料】

- ・バスの乗り方やマナーを身に付けて休日はバスで旅に出かけませんか！
・・・・・・・・資料 2-1(資料 P. 31)

○ 高齢者を対象とした公共交通啓発資料の配布

事業概要	公共交通のお得な情報をより詳しく記載したリーフレットを作成し、免許返納の際に市民安全課が配っているリーフレットと併せて配布したり、高齢者が車で行くことが想定される病院・診療所や趣味の活動施設等で配布したりすることにより、免許返納者や高齢者に公共交通の利用促進を促す。
作成部数	2,000部
作成費	86,400円
配布日	9月下旬
配布先	免許返納者や病院・診療所、高齢者が集まる施設

【資料】

- ・“得”公共交通！・・・・・・・・・・・・・・・・資料 2-2(資料 P. 33)

○ 上越市内公共交通利用ガイドの配布

事業概要	鉄道と路線バスのダイヤ改正に合わせて、時刻表と路線図等を掲載した「上越市内公共交通利用ガイド」を全戸配布。
主な仕様	品 名：上越市内公共交通利用ガイド 大 き さ：A4 判冊子 ページ数：124 ページ（本文 120 ページ、表紙 4 ページ） 構 成：路線図 42 ページ、時刻表 37 ページ、公共交通情報 8 ページ、施設情報 13 ページ、医療ガイド 8 ページ、地域情報 16 ページ、その他（目次等） 6 ページ
作成部数	95,500 部
予 算	作 製 費： 0 円（委託業者が得る広告収入で負担する） 郵 送 費：159,062 円 消耗品費： 11,140 円
配 布 日	平成 31 年 3 月 15 日（広報上越 3 月 15 日号に合わせて配布予定） ※鉄道のダイヤ改正が 3 月 14 日以前の場合、広報上越 3 月 1 日号に合わせて配布予定
配 布 先	市内全世帯、公共交通事業者、公共施設等
備 考	昨年度発行したガイド冊子の仕様等は以下のとおり。 ・品 名：上越市内公共交通利用ガイド ・大 き さ：A4 判冊子 ・ページ数：48 ページ ・構 成：目次 1 ページ、路線図 10 ページ、時刻表 37 ページ ・作成部数：86,000 部 ・事 業 費：2,138,400 円（うち事業者負担金 462,600 円） ・配布時期：平成 30 年 3 月 15 日 ・配 布 先：市内全世帯、公共交通事業者、公共施設等

【資料】

- ・上越市内公共交通利用ガイド作製イメージ・・・・・・・・・・資料 2-3(資料 P. 37)

○ 各区で取り組む利用促進事業



利用促進策	施設と連携した割引サービス
事業概要	区の公共施設等と連携し、路線バスで来場する人に対して施設で利用できる割引券を配布することで、バス利用促進を図る。
対象施設	<p>○ <u>深山荘（牧区、昨年度から継続して実施）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・内 容：深山荘までバスを利用した人にスタンプを押印し、5個ためると深山荘で使用できる1,000円の商品券を進呈 ・実施期間：平成30年4月1日～平成30年11月30日 <p>○ <u>ろばた館（名立区、昨年度から継続して実施）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・内 容：市営バスを利用してろばた館へ来館し、5回入浴すると次回の入浴料が無料 ・実施期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日 <p>○ <u>鵜の浜人魚館（大潟区、今年度から新たに実施）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・内 容：鵜の浜人魚館に上越大通り線または浜線を利用して来館された方に鵜の浜人魚館の食事処「海風」で利用できるドリンク1杯無料券を進呈 ・実施期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日
備 考	やすらぎ荘（板倉区）は平成29年度末で割引サービス終了（実施内容：やすらぎ荘のドリンク1杯無料券を板倉区内路線バス車内で配布）
利用促進策	公共交通の利用PR
事業概要	総合事務所だよりやチラシ、各種会議での呼びかけを通じて、バスの利用を促す。
実 施 日	6月～8月
実施内容	<p>○ <u>夏休み小・中・高校生「バス乗車体験」キャンペーンのPR</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・周知先：総合事務所だより（牧区、清里区、三和区） 小中学校生徒（吉川区、中郷区、板倉区、名立区） 小中学校PTA（安塚区、大島区、牧区、合併前上越市） 保育園保護者会（柿崎区） 校長会（牧区） 町内会（大潟区、頸城区） 子供会（浦川原区） ・実施日：6月～8月 <p>○ <u>各種会議等での呼びかけ（牧区）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・周知先：総合健診、教育関係者の懇談会 ・実施日：5月～6月 <p>○ <u>総合事務所職員への呼びかけ（頸城区）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・周知先：総合事務所職員及びその家族 ・実施日：6月

利用促進策	敬老の日におじいちゃんおばあちゃんとバスに乗ろう
事業概要	園児が描いたおじいちゃんおばあちゃんの似顔絵をバス車内に掲示することにより、バスを利用する機会を提供し、バスの利用促進を図る。
実施内容	<p>○ 真行寺幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象路線：上越大通り線ほか9路線 ・実施期間：平成30年9月15日～平成30年9月30日 <p>○ うらがわら保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象路線：直江津・浦川原線 ・実施期間：平成30年9月15日～平成30年9月30日 <p>○ 南川保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象路線：南川線 ・実施期間：平成30年9月11日～平成30年9月30日 <p>○ いたくら保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象路線：島田線、新井・板倉線、菰立線、上関田線、山寺薬師線、三針（清里）線 ・実施期間：平成30年9月1日～平成30年9月30日 <p>○ さんわ保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象路線：水科・今保線、真砂・岡田線、高田・浦川原線 ・実施期間：平成30年9月3日～平成30年9月21日 <p>※ 10月1日から31日まで、三和コミュニティプラザで似顔絵を展示</p>
実施状況	<p>掲示状況</p> 
所感	<ul style="list-style-type: none"> ・バス車内の似顔絵を眺める乗客が多くいた。 ・似顔絵を見るためにバスに乗った家族も見られた。

・柿崎区

利用促進策	「地域の交通を考える会」と連携した公共交通のPR
事業概要	柿崎区地域協議会の部会「地域の交通を考える会」の取組について、総合事務所だより等を通じて周知し、公共交通の利用を促した。
実施内容	<p>○ 市内探索バスツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内 容：バス1日フリー乗車券を利用して柿崎区や吉川区を巡る「市内探索バスツアー」を実施 ・実施時期：6月（参加者7人） <p>※今後もお得な乗車券を活用したモデルコースを検討し、ツアーを実施する。</p>

・中郷区

利用促進策	お買い物ツアー
事業概要	区内の団体が、高齢者を対象にした買い物ツアーを実施。
実施内容	<p>○ 西部地区高齢者支援お楽しみ買い物ツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主 催：岡沢老人クラブ松寿会 ・対 象：岡沢地区及び福田地区の高齢者 ・実施日：5月～11月（9回開催、参加者108人） <p>○ お買い物ツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主 催：特定非営利活動法人中郷区まちづくり振興会 ・対 象：70歳以上で車を運転しない人 ・実施日：7月、9月、12月、3月（1回開催、参加者15人）
利用促進策	運行ダイヤ表ポケット版
事業概要	携帯に便利なポケット版(A5サイズ)ダイヤ表を区内施設へ設置。
実施日	6月
作成部数	200部
内 容	<p>表面</p>  <p>裏面</p> 

・板倉区

利用促進策	バス待合所の環境整備
事業概要	「板倉コミュニティプラザ前」待合所（ふれあいサロン）を居心地よく利用できるように、季節の花の鉢植えを設置。
実施日	4月～
利用促進策	デマンド予約の代行と待合環境の整備
事業概要	デマンドバスの利用しやすい環境を整備するため、総合事務所が商店街にデマンドバスの予約代行と待合時場所の提供について協力を依頼した。
実施日	4月～（平成30年3月15日から開始）
協力店舗	<ul style="list-style-type: none"> ・新井信用金庫 板倉支店 ・一般財団法人ふしんの里観光公社いたくら亭 ・えちご上越農業協同組合 板倉支店 ・かどや酒店 ・合資会社小林堂商店 ・有限会社シオジマ ・新山屋 ・セブンイレブン上越板倉店（デマンド予約のみ協力）

・清里区

利用促進策	バスに乗って「きよさと朝市」
事業概要	きよさと朝市までバスを利用した人に、ポイントカードのスタンプを1つ贈呈。
実施日	7月～
チラシ	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>表面</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p>裏面</p> </div> </div>

・名立区

利用促進策	名五美ちゃんでき立区を元気に！事業～なごみちゃん de アート～
事業概要	宝田小学校 PTA が、地域活動支援事業を活用し、宝田小学校と協力して区内 7 か所の待合所を装飾する。また、装飾した待合所をお披露目する機会として「なごみちゃんバス停スタンプラリー」の実施を 11 月に予定。
実施日	7月～

中郷区乗合タクシーのダイヤ見直しに関する検討状況について

1 要旨

中郷区及び妙高市を運行する乗合タクシー「関山ルート」について、見直しの進捗状況を報告するもの。

2 見直しの内容

- ・平成30年10月22日(月)から、関山ルートの最終便（新井地区17：20発）の運行を取りやめる。

■関山ルートの運行ダイヤ

関山→新井		新井→関山	
No.	発時間	No.	発時間
1	定時 6：52	1	9：25
2	8：25	2	12：05
3	13：00	3	15：20
4	16：10	4	17：20

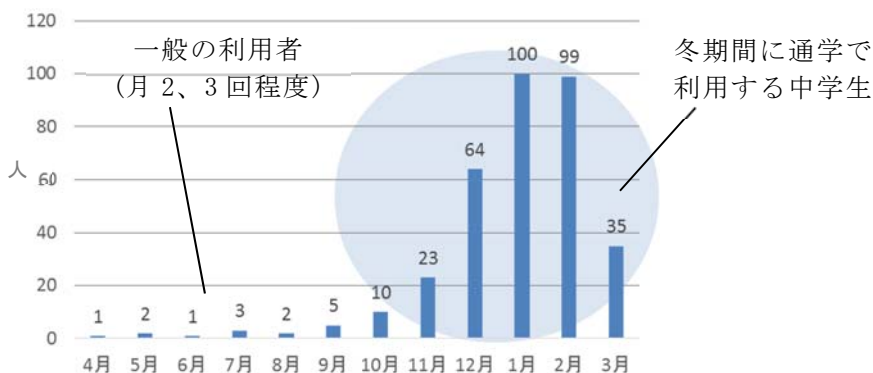
←今回運行を取りやめる便

3 見直しの理由

関山ルートの最終便（17：20 新井発関山行）については、冬期間の中郷中学校の生徒のスクール利用を除き、月に2,3回程度の利用にあり、他の便と比較しても稼働率が極端に低いこと、運行事業者から運転士の確保が困難であるとの申し出があったことなどにより、最終便の利用促進PRを行うとともに、ダイヤ見直しに向けたニーズ調査を行うなど、稼働率アップや便数維持に向けた取組を行ってきたところであるが、当該路線における新規需要が見込めないこと、最終便の定期利用者から減便についての了解が得られたことから、関山方面行きを4便から3便に減便する。

なお、減便に伴う中郷中学校の生徒への対応については、市がスクールバスを運行することで補完する。

■最終便の利用状況（H29年度）



4 今後の予定

- ・現在、妙高市において、地域内フィーダー系統確保維持計画の変更手続を実施しているところであり、今後、妙高市地域公共交通協議会において書面協議を行う。
- ・協議が整った後、道路運送法上の手続を経て、10月22日(月)から最終便の運行を取りやめる。
- ・最終便の運行取りやめについては、乗合タクシーの利用者に対し、口頭で説明するとともに、チラシによる周知を行うほか、広報上越とあわせて中郷区の住民向けに周知チラシを全戸配布する。
- ・中郷区公共交通懇話会委員へは、書面で報告を行う。

【資料】

- ・周知チラシ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料3(資料 P.51)